

チリ経済情勢報告(2020年3月)

<概要> 景気は、弱含んでいる。

- 消費は下げ止まっているものの、一部に弱い動きがみられる。
- 観光は下げ止まっている。
- 生産は、工業、鉱業ともに増加。企業マインドは持ち直しの動きが見られる。
- 失業率は高い水準にあり、悪化している。
- 物価は上昇している。
- 貿易は黒字が続いている。
- 銅価格は大きく下落、為替はペソ安に進展、株価は急速に下落している。

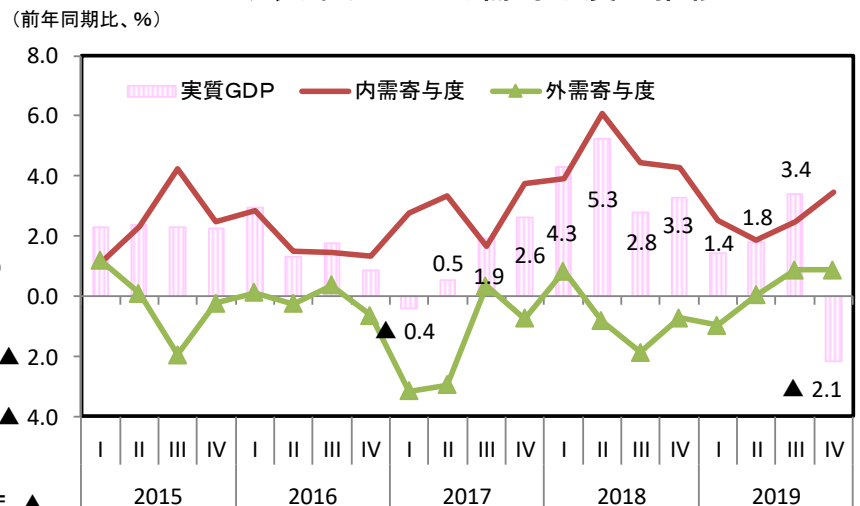
先行きについては、コロナウイルスによる輸出入の減少、消費停滞、雇い止め等国内経済活動及び世界経済の停滞、国内情勢不安の引き続きの影響に留意する必要がある

1. 経済指標

GDP成長率及び内外需寄与度の推移

(1) GDP成長率(2019年Q4)

2019年の第4四半期(10~12月期)の実質GDP成長率は前年同期比▲2.1%とマイナス成長となった。また、季節調整済前期比の伸び率は▲4.1%となった。



①需要項目別の動向

内需は前年同期比 ▲3.3% (前期同2.7%)となった(寄与度 ▲

3.3%)。消費は前年同期比 ▲4.5% (前期同2.9%)となった。内訳は、民間消費が同 ▲3.8% (前期同2.9%)、政府消費は同 ▲7.4% (前期同2.7%)となった。総固定資本形成は前年同期比2.7% (前期同5.1%)となった。内訳をみると、機械・設備投資が同5.4% (前期同7.6%)、建設・住宅投資が同 ▲2.1% (前期同1.1%)であった。

外需の寄与度は、1.1%であった。輸出は、前年同期比 ▲3.5% (前期同1.1%)となった。品目別では銅が同 ▲4.4% (前期同4.7%)と減少し、鉱業品全体も同 ▲4.5% (前期同2.1%)と減少した。財全体では同 ▲3.6% (前期同1.5%)と減少、農林水産品は同10.0% (前期同11.7%)の増加となった。輸入は、前年同期比 ▲7.5% (前期同 ▲1.1%)であった。

②セクター別の動向

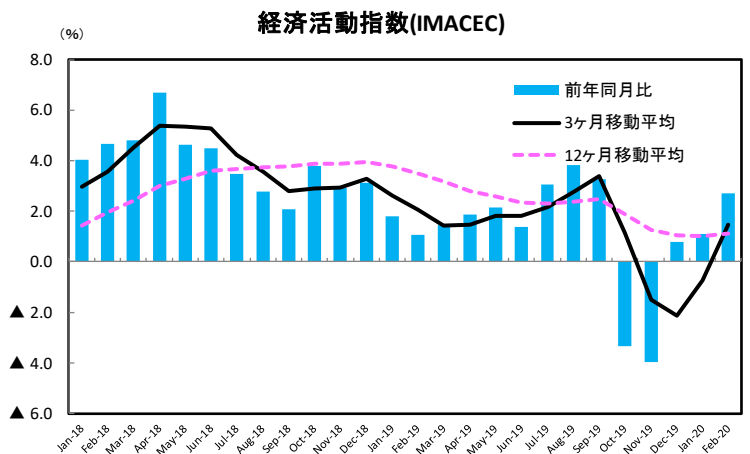
セクター別では、銅が前年同期比 ▲2.7% (前期同1.1%)と減少し、その他の鉱業は同3.2% (前期同0.3%)と増加した。鉱業全体では同 ▲2.0% (前期同1.0%)と減少した。製造業は同 ▲1.0% (前期同2.7%)と減少した。農林業は前年同期比 ▲1.9% (前期同

1.9%)), 水産業が同 ▲6.0%(前期同1.1%)となった。

(2) 経済活動指数(IMACEC) - 前年同月比 2.7%増 -

2月のIMACECは前年同月比2.7%, (季節調整済前月比は0.6%)となった。営業日数は昨年と同じであった(本年はうるう年)。鉱業は前年同月比10.4%, 鉱業以外の業種は同2.0%だった。季節調整済前月比では鉱業は7.2%, 非鉱業部門は2.1%となった。

中銀アンケート(4月)による見通しは3月 ▲2.7%(中央値)となっている。



(3) 消費 - 下げ止まっているものの、一部に弱い動き -

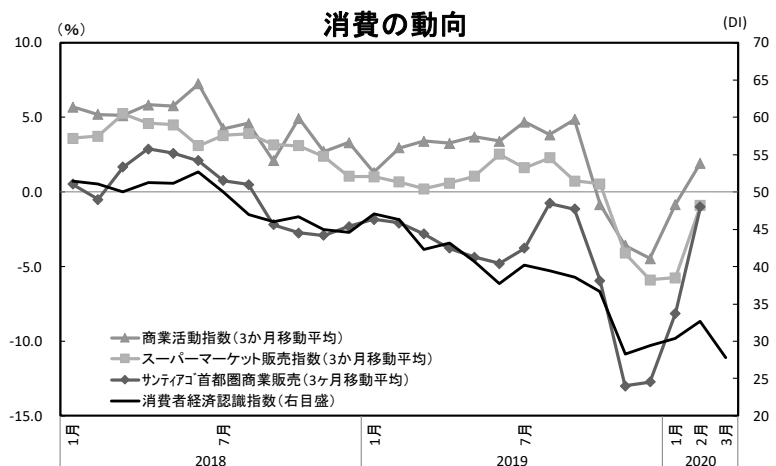
① 2月の商業活動指数(実質, INE公表)は、前年同月比3.9%, 同指数の小売業(除く車)は同6.4%となった。

② 2月のスーパーマーケット販売額(実質, INE公表)は、前年同月比6.9%となった。

③ 商業販売額(チリ商工会議所公表, サンティアゴ首都圏, 暫定値)は、2月は前年同月比4.5%となった。

④ 3月の消費者経済認識指数(IPEC, GfkAdimark公表)は27.8(前月差 ▲4.9), 個人の景気認識(現状)は31.6(同 ▲3.8)と、引き続き50(中立点)を下回っている。

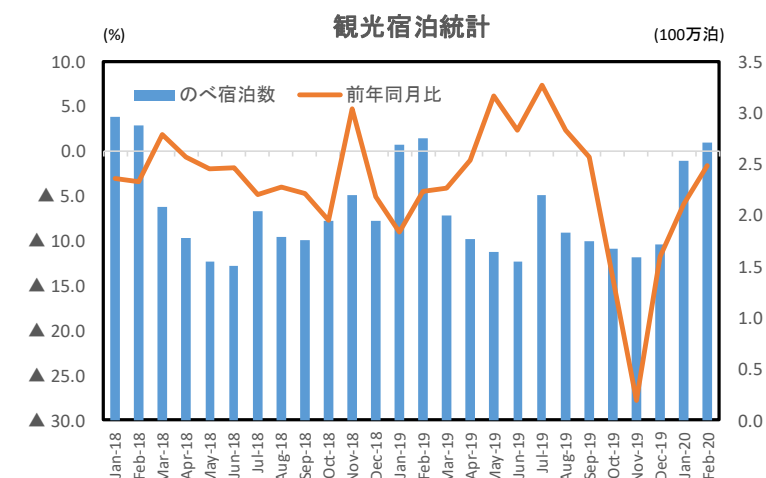
⑤ 3月の新車販売台数は19,177台(前年同月比 ▲36.5%)となった。



(4) 観光 - 下げ止まっている -

2月の観光宿泊調査(INE公表)は、のべ宿泊日数が2,712,964日, 前年同月比 ▲1.5%となった。

地域別では、シェアの大きい首都圏州は同 ▲15.1%(寄与度 ▲3.1%), バルパライソ州は同 ▲13.0%(寄与度 ▲2.0%)となった。その他の地域合計では、同 ▲5.5%となった。

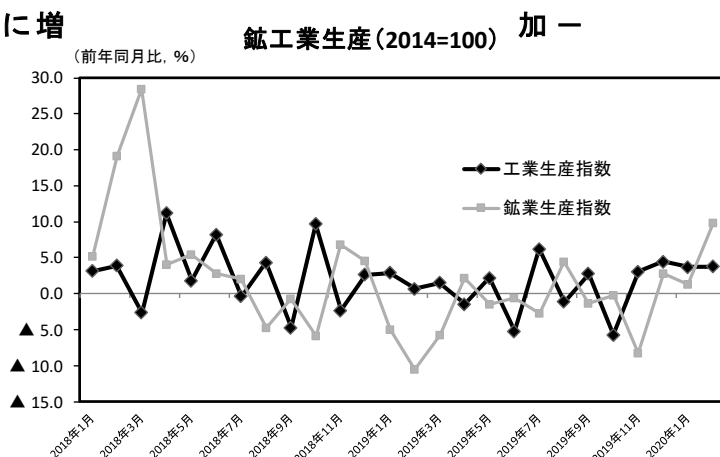


(5) 鉱工業生産，電力－工業，鉱業ともに増

2月の工業生産指数は，前年同月比3.7%となった。セクター別では機械設備を除くその他の金属製品が前年同月比寄与度1.21%と増加に寄与した一方，製紙が同▲0.41%と減少に寄与した。

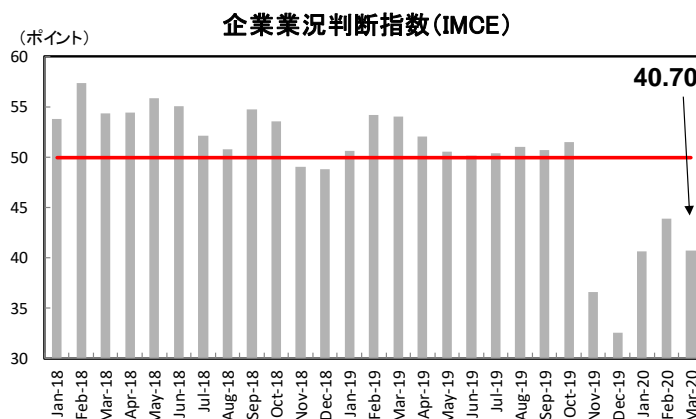
2月の鉱業生産指数は前年同月比9.9%，銅生産量は同8.3%となった。

2月の電力指数は前年同月比4.2%となった。



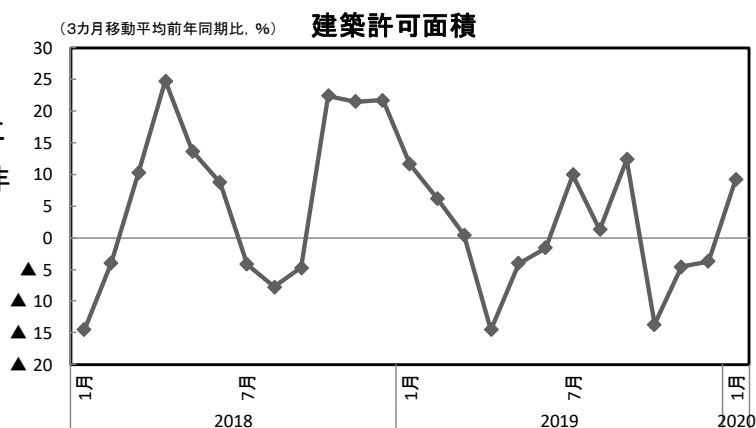
(6) 企業の業況判断－持ち直しの動き－

3月のIMCE(企業業況判断指数)は40.70ポイントで，前月差▲3.21ポイントとなり，中立点を引き続き下回っている。内訳を見ると，商業が40.38(同▲1.59ポイント)，鉱業が52.57(同▲9.07ポイント)，製造業は43.03(同▲2.23ポイント)，建設業が24.26(同▲1.43ポイント)となった。



(7) 不動産－減少している－

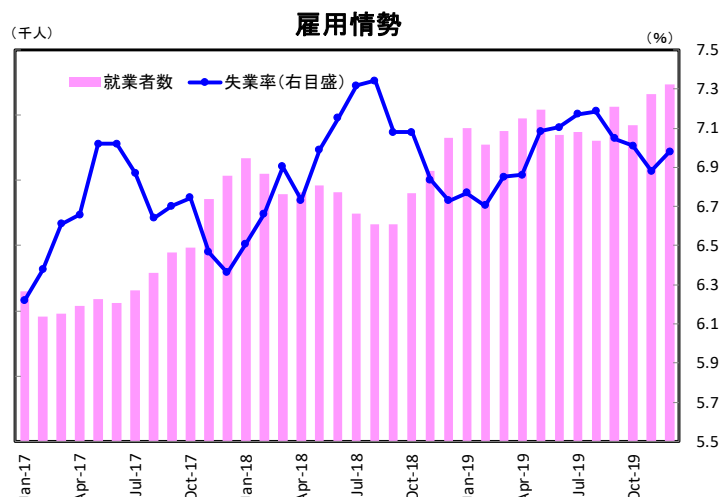
1月の建築許可面積(INE公表)は前年同月比9.2%(3か月移動平均)と4か月ぶりに増加した。内訳を見ると，住居が同17.1%，非住居は同▲6.6%となった。



(8) 雇用－失業率は高い水準にあり、悪化している－

12～2月期の失業率は7.8%（前年同期差0.78%）と、高い水準にある。前年同期で見ると、労働力人口は249,609人増加（前年同期比2.6%）、就業者数は155,736人増加（同1.7%）し、失業者数は93,872人増加（同13.9%）している。就業者数を職業別にみると、科学技術が寄与度0.43%と増加に寄与する一方、農林水産が同▲0.45%と減少に寄与している。

2月の賃金（速報値）は、名目は前年同月比4.5%、実質は同0.6%となった。

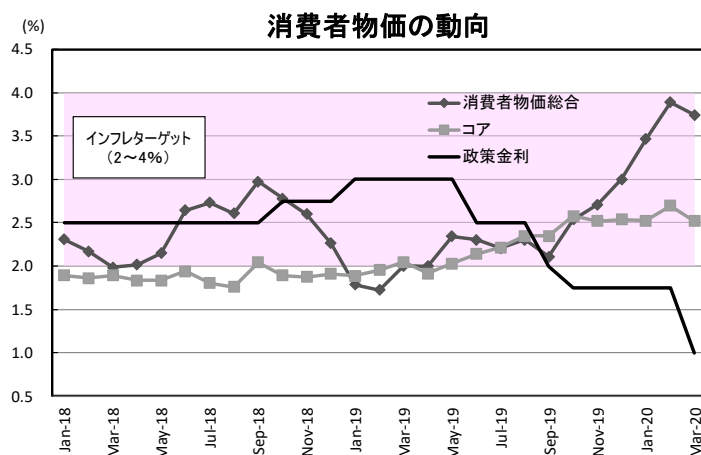


(9) 物価－上昇している－

3月の消費者物価指数（総合）は、前月比は0.3%、前年同月比は3.7%となった。品目別に前年同月比の動きをみると燃料（9.9%）、生鮮（7.4%）が上昇している一方、通信（▲3.2%）が下落している。なお、消費者物価指数（コア）は、前月比0.3%、前年同月比2.5%であった。

中銀アンケート(4月)によるインフレ期待は1年後：2.9%（前月3.2%）、2年後：3.0%（前月3.0%）となっている。

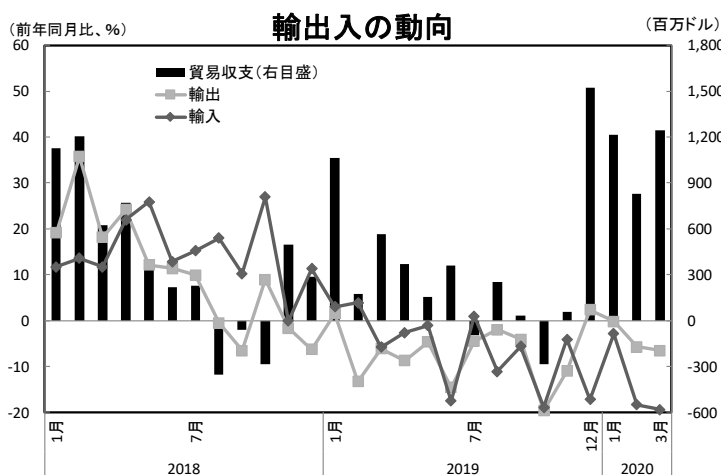
2月の生産者物価（全産業）は、前月比は▲1.2%、前年同月比は5.3%となった。電気ガス水道（前年同月比12.7%）、農林牧畜（同9.8%）が上昇した。



(10) 貿易－黒字が続いている－

① 3月の輸出額（FOB）は56.9億ドル（前年同月比▲6.5%）となった。内訳を見ると、鉱業品28.9億ドル（同▲5.3%）（全体の51%）、農林水産品7.0億ドル（同0.8%）（全体の12%）、製造業品21.0億ドル（同▲10.3%）（全体の37%）となった。鉱業品のうち銅は26.4億ドル（同▲7.6%）（鉱業品輸出額全体の91%）となった。

② 3月の輸入額（FOB）は44.5億ドル（前年同月比▲19.4%）となった。内訳（CIF）は、消費財13.4億ドル（同▲23.5%）、中間財25.1億



ドル(同 ▲15.1%), 資本財9.3億ドル(同 ▲20.2%)となった。

③3月の貿易収支(FOB)12.4億ドルの黒字となった。

(11) 対日・中・韓貿易

①対日貿易(FOB)2月の貿易額は, 輸出額5.0億ドル(前年同月比11.3%), 輸入額0.9億ドル(同 ▲56.4%), 貿易総額では5.9億ドル(同 ▲10.1%)となった。

②対中貿易(FOB):2月の貿易額は, 輸出額14.6億ドル(前年同月比 ▲18.1%), 輸入額11.1億ドル(同 ▲23.7%), 貿易総額では25.7億ドル(同 ▲20.6%)となった。

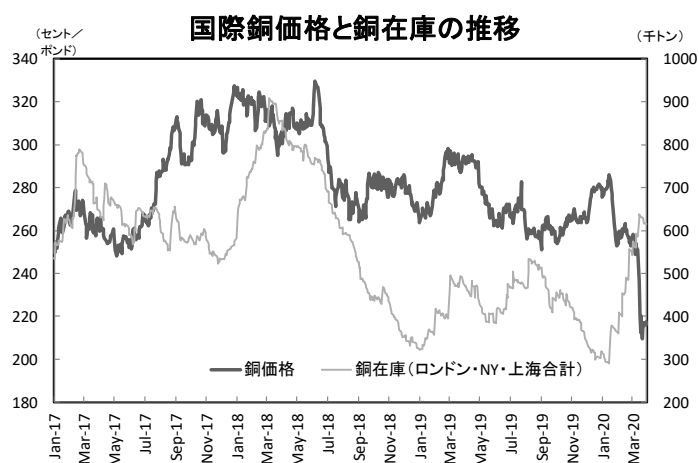
③対韓貿易(FOB):2月の貿易額は, 輸出額4.2億ドル(前年同月比8.7%), 輸入額0.7億ドル(同 ▲31.2%), 貿易総額では5.0億ドル(同 0.2%)となった。

2. 市場の動き

(1) 国際銅価格—大きく下落—

3月の国際銅価格は1ポンド2.55826ドル(2日)で始まった。コロナウイルスによる革製塩上の混乱や原油価格の下落等から銅は急速に値を下げ, 2.0ドル台に達した。月末には2.17588ドル(31日)と前月末比 ▲13.9%で終了した。

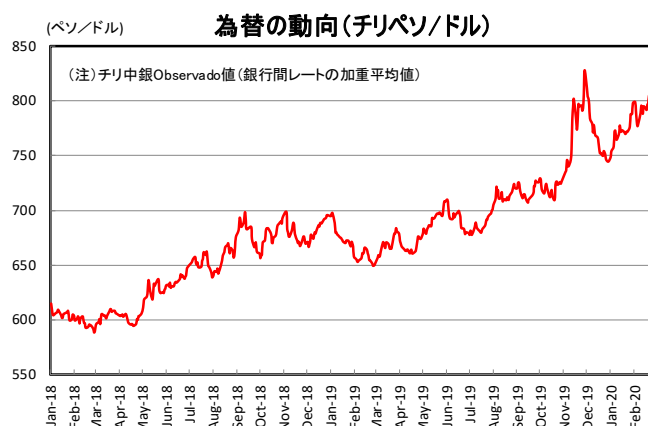
2月の銅在庫は, 553,671トン(2日)で始まり, 月末には550,960(28日)と前月末より減少した。



(2) 為替—ペソ安に進展している—

3月の為替は, 1ドル818.32ペソ(2日)で始まった。コロナウイルスの影響がさらに進展。

月末は846.30ペソ(31日)と前月末差30.04ペソ安で終了した。



(3) 株価－急速に下落している－

3月のIPSA値（サンティアゴ主要株式指数）は4283.63ポイント（2日）で始まった。コロナウイルスにより株が連日急落し、2000ポイント台まで下落した。月末には3487.48ポイント（31日）と、前月末比▲15.4%で終了した。

